

【加賀市】降雪・積雪・除雪状況をリアルタイムに地域・自治体・観光客などに情報提供する手法等

課題の背景

【多極分散型都市】

昭和～平成にかけて3度の市町村合併を行い現在に至る。JRの駅が3つあるものの、「加賀温泉駅」を中心に主力産業である観光地（3温泉街）まで20～30分要する。

【気候】

北陸特有の気象条件から降雪が多い。特に山中地区においては平均で60cmを超える積雪量がある。

【直近の豪雪災害】

平成30年2月に福井県境で起きた豪雪災害。

- ・ 国道8号線の福井県坂井市から加賀市までの10kmにわたり1,500台もの車が立ち往生
- ・ 福井県が自衛隊に災害派遣を要請したほか、加賀市でも雪害対策本部を立ち上げ、食料等の配給、避難誘導、市道の除雪排雪などの対応に追われた
- ・ 山中温泉地区（加賀菅谷）では、24時間降雪量最大72cm、2月4日～8日の積雪量160cm

求められる要件(機能要求・関連基準等)

【解決したい課題】

降雪・積雪による

- ・ 通勤などの車道における移動の確保
- ・ 通学、通院、買い物など日常生活における歩道や駐車場などの移動の確保
- ・ 高齢化、人口減少に伴う屋根雪下ろし、雪掻きの負担軽減
- ・ 観光客の安全性確保

【期待する提案の例】

- ・ 降雪状況、除雪状況のリアルタイムなオープンデータとして公開し、地域・行政・観光客などが確認できるもの。
- ・ 道路、歩道、駐車場など様々な場所、環境において除雪を行うことができるもの。
- ・ 除雪作業の自動化（自動運転、遠隔操作など）につながるもの。
- ・ 道路の消融雪装置における自動作動管理を行い、路面凍結などによる2次災害を発生させないもの。
- ・ 合理的な除雪車の配置や除雪路線の分析ができるもの。